

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1

当初

事 項	ひきこもり支援推進事業費										予算主管課		健康増進課		
事 業 概 要	ひきこもり支援を推進するため、第一次相談窓口として「ひきこもり相談室」を設け、相談の内容に応じて対象者を医療・保健・福祉・教育・労働等の適切な関係機関につなげる体制を整備する。										始期		H23		
											終期				
K P I	相談件数（保健所及び心と体の健康センター）														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	時点・期間	R 3年度		時点・期間	R 5年度	時点・期間	R 6年度	時点・期間	R 7年度	時点・期間	R 8年度				
	現状値	852	件	目標値	1000 件	目標値	1000 件	目標値	1000 件	目標値	1000 件				
				実績値	803 件	実績値	件	実績値	件	実績値	件				
				達成率	80.30 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%				
コ ス ト			最終現計予算額	8,642 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円					
			決算額	7,978 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円					
5 年 度	要因分析		評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） R3年度に、ひきこもり相談窓口が市町に明確化されたこと、また、新型コロナウイルス感染症がR5.5月から5類感染症に引き下げられたことによる社会環境の変化から県における相談件数は減少し、未達成となった。												
			総括（事業最終年度の場合、要記入。）												
	見直し方向性		改善	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度の目標達成率が想定よりも低調であったことに加え、ひきこもり相談窓口が市町に明確化されているという現状を踏まえると6年度も同様の状況が見込まれる。市町と県が今後も連携して関わりながら、個々の状況に応じた必要な支援につなぎながら更なる成果の向上につなげていく。（見直し時期はR7年度予算の予定）											

2

当初

事 項	二次救急精神科医療支援体制整備事業費										予算主管課		健康増進課		
事 業 概 要	二次救急医療機関へ搬送された精神疾患患者を精神科病院が受入対応する経費を支援するとともに、情報センターの運営を行うことにより、二次救急医療機関の負担軽減を図る。										始期		H29		
											終期				
K P I	二次救急精神科医療支援情報センターにおける受診調整件数														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	時点・期間	R3年度		時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度				
	現状値	5	件	目標値	13 件	目標値	13 件	目標値	13 件	目標値	13 件				
				実績値	5 件	実績値	件	実績値	件	実績値	件				
				達成率	38.46 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%				
コ ス ト			最終現計予算額	44,442 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円					
			決算額	44,004 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円					
5 年 度	要因分析		評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 精神科病院での受け入れ基準について、複数の要件があるため、二次救急医療機関にとって利用しづらい体制となっている可能性があり、また事業の開始から5年以上が経過し、二次救急医療機関側で制度を知らない医療従事者がいることから、利用につながっていない可能性がある。												
			総括（事業最終年度の場合、要記入。）												
	見直し方向性		改善	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） KPIの実績値が伸び悩んでおり、6年度に事業の再周知を行っても同様の状況であれば、7年度において、患者の受入基準の緩和等を検討する。											

